

熊本高等専門学校	開講年度	平成29年度(2017年度)	授業科目	保健・体育IV
科目基礎情報				
科目番号	LK501	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	実習	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	共通教育科(熊本)	対象学年	5	
開設期	通年	週時間数	1	
教科書/教材	使用しない			
担当教員	岩田 大助			
到達目標				
心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てることができる。また、技術だけではなく、戦術やマナーにおいても身に付けることができる。				
ループリック				
基礎技術	理想的な到達レベルの目安  ゴルフクラブの種類と性能を覚え、グリップ・スタンス・スイングの基本を習得し、正確に打つことが出来る。また、周りの状況を把握し、活動場所の安全に留意しながら団体の中で活動できる。	標準的な到達レベルの目安  ゴルフクラブの種類と性能を覚え、グリップ・スタンス・スイングの基本を習得し、打つことが出来る。また、周りの状況を把握し、活動場所の安全に留意しながら団体の中で活動できる。	未到達レベルの目安  ゴルフクラブの種類と性能を覚えることが殆ど出来ず、グリップ・スタンス・スイングの基本を習得出来ていない。また、周りの状況を把握し、活動場所の安全に留意しながら団体の中で活動できない。	
応用技術	クラブ別ショット法を習得し、正確に打つことが出来る。また、自己の課題解決に向けて仲間と補助や助言をし合い意欲的に練習することができる。	クラブ別ショット法を習得し、打つことが出来る。また、自己の課題解決に向けて仲間と補助や助言をし合い意欲的に練習することができる。	クラブ別ショット法を殆ど習得出来ていない。また、自己の課題解決に向けて仲間と補助や助言をし合い意欲的に練習することができない。	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	1. ゴルフの基礎（技術・戦術・マナー）を講義する。 2. 最終的に本コースでのプレーが楽しめるレベルを目指す。 3. 体力・運動能力を知るとともに、健康の保持増進のため体力の向上を図る。			
授業の進め方・方法	ゴルフの歴史や使用する道具の説明などの基礎を理解させ、スイングの基本動作を作り上げる。最終的に本コースでのラウンドレッスンを実施する。			
注意点	体を動かすことが習慣化されるようになって下さい。指示があるまでは、スイングしたり、ボールを打ったりしないよう注意して下さい。わからないことがあればいつでも質問してください。また、運動着・体操服で活動してください。規定授業数は、30時間です。			
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1週	ガイダンス・体力テスト	現在の体力・運動能力を知ることができる。1年間の授業概要や、ゴルフのルール・戦術・マナーについて理解することができる。	
	2週	体力テスト		
	3週	基礎技術	ゴルフクラブの種類と性能を覚え、グリップ・スタンス・スイングの基本を習得することができる。周りの状況を把握し、活動場所の安全に留意しながら団体の中で活動することができる。 実技試験の合否と学習状況における「態度・理解力・取り組み方」で評価する。	
	4週	スイング撮影	同上	
	5週	アプローチ（1）	同上	
	6週	アプローチ（2）	同上	
	7週	アプローチ（3）	同上	
	8週	実技試験（1）		
後期	9週	実技試験（2）		
	10週	応用技術	クラブ別ショット法を習得することができる。自己の課題解決に向けて仲間と補助や助言をし合い意欲的に練習することができる。	
	11週	スイング撮影	同上	
	12週	アプローチ（1）	同上	
	13週	アプローチ（2）	同上	
	14週	アプローチ（3）	同上	
	15週	実技試験（1）		
	16週	実技試験（2）		
3rdQ	1週			
	2週			
	3週			
	4週			
	5週			
	6週			
	7週			
	8週			

4thQ	9週		
	10週		
	11週		
	12週		
	13週		
	14週		
	15週		
	16週		

#### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	相手の意見を聞き、自分の意見を伝えることで、円滑なコミュニケーションを図ることができる。	2	
			相手を理解した上で、説明の方法を工夫しながら、自分の意見や考えをわかりやすく伝え、十分な理解を得ている。	2	
			集団において、集団の意見を聞き、自分の意見も述べ、目的のために合意形成ができる。	2	
			目的達成のために、考えられる提案の中からベターなものを選び合意形成の上で実現していくことができ、さらに、合意形成のための支援ができる。	2	

#### 評価割合

	試験						合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
	0	0	0	0	0	0	0